

2024年 5月20日

京成電鉄株式会社

## 安全・安定輸送の追求と、人と環境に優しい鉄道へ

# 2024年度 鉄道事業設備投資計画

### 昨年度実績比83億円(+52%)増の総額243億円

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2024年度、鉄道事業で総額243億円の設備投資を実施します。

お客様により安全・快適にご利用いただけるよう、鉄道施設の強靱化や、輸送障害等異常時における対応力強化、計画的な施設更新などの安全対策を強化します。また、バリアフリー化工事や駅施設のリニューアル、環境負荷の低減など、日々の暮らしに寄り添う、人と環境に優しい取り組みを実施します。さらに、成田空港の更なる機能強化への対応のため、宗吾車両基地における新工場建設工事を推進します。

本件の詳細は、次頁の通りです。

#### <概要>

##### (1)安全・安心

- 防犯カメラの新設など、車内における安全対策を進めます。
- 駅舎・高架橋柱の耐震補強工事や法面補強工事を進めます。
- 押上線 葛飾区内(四ツ木駅~青砥駅間)の連続立体交差事業や、京成本線荒川橋梁架替工事を進めます。
- 日暮里変電所の設備機器や青砥駅の連動装置など、鉄道施設の更新・改良を進めます。

##### (2)日々の暮らし

- ホームドアの整備やエレベーターの設置など、バリアフリー化を進めます。
- 駅施設のリニューアルを進めます。
- 更なる環境負荷の低減を図るため、駅・車内照明のLED化を進めます。
- 編成車両数を変更できる新形式車両(3200形)を導入します。

##### (3)空港輸送

- 宗吾車両基地における新工場建設工事を進めます。

# 2024年度 鉄道事業設備投資計画について

## 1. 投資額

243億円（昨年度実績比+83億円(+52%)）

## 2. 主な取組み



### (1)安全・安心

#### ① 駅・車内の安全対策の強化

##### ● 駅ホームの改修

駅ホームにおける老朽化対策の一環として、宗吾参道駅において改修工事を実施します。



▲ 駅ホーム改修工事イメージ

（京成佐倉駅ホーム 2023 年度実施）

##### ● 防犯カメラの設置

テロ等の危険行為に対応するため、通勤型車両の車内に防犯カメラの設置を推進します。

#### ② 耐震補強工事

大規模地震への対策として、京成佐倉駅等のホーム上家、千葉寺駅～ちはら台駅間の高架橋柱等の耐震化に引き続き取り組みます。



▲ 耐震補強工事イメージ

（京成八幡駅ホーム上家 2023 年度実施）

### ③ 法面補強工事

集中豪雨などにより法面（線路脇斜面）の土砂が流出することを防ぐため、京成成田駅～空港第2ビル駅間等の法面補強工事を引き続き実施します。

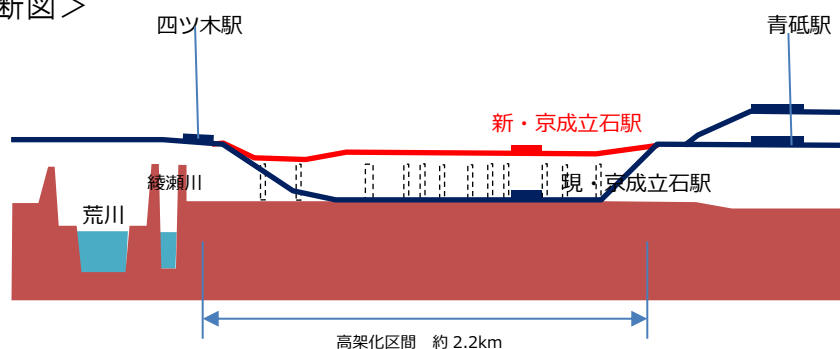


▲法面補強工事イメージ(谷津駅～京成津田沼駅間 2023 年度実施)

### ④ 連続立体交差事業の推進

押上線葛飾区内(四ツ木駅～青砥駅間)の連続立体交差事業について、仮下り線工事を進めます。この事業が完了すると、平和橋通りなどの沿線にある11カ所の踏切が廃止され、道路・鉄道それぞれの安全性が向上するほか、踏切による交通渋滞が解消します。これに伴い、これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、魅力あるまちづくりが推進されます。

<縦断図>



## ⑤ 京成本線荒川橋梁架替工事の推進

沿線地域防災への取組みとして、国の荒川下流特定構造物改築事業である京成本線荒川橋梁架替工事を事業完了に向け引き続き推進します。

<新橋設置時のイメージ>



## ⑥ 鉄道施設の更新・改良

安全性の維持・向上のため、各種鉄道施設の計画的な更新・改修工事を実施します。

日暮里変電所の機器更新を実施し安定的な電力供給を図るほか、青砥駅において駅の転てつ機と信号機を安全に連動させる装置の更新を実施し、運転保安度の向上を図ります。また、線路の下に撒く碎石の厚みを増す工事や、軌道変位が生じにくいマクラギ(ラダーマクラギ)への交換を推進し、乗り心地の改善を図ります。さらに、自動券売機および自動改札機等の駅務機器について更新を実施します。



## (2)日々の暮らし



京成電鉄では、ホームドアをはじめとしたバリアフリー設備の整備を推進するため、2024年3月16日(土)より「鉄道駅バリアフリー料金制度」に基づく料金収受を開始しました。すべてのお客様へ更に安全・安心・快適にご利用いただける鉄道を目指します。

### ① 駅のバリアフリー化

駅ホームからの転落や列車との接触による事故を防止するため、京成高砂駅、青砥駅、鬼越駅のホームドアの設置を推進します。



▲ホームドア設置イメージ  
(押上駅 2023 年度実施)

また、勝田台駅南口について、エレベーターの設置工事が今年度完了するほか、新千葉駅について、エレベーターやスロープ、バリアフリートイレの整備を引き続き推進します。

さらに、大森台駅について、エレベーターやバリアフリートイレの整備に着手します。



▲スロープ イメージ  
(西登戸駅 2022 年度実施)



▲バリアフリートイレ イメージ  
(西登戸駅 2022 年度実施)

## ② 駅施設リニューアル工事

市川真間駅や京成中山駅のリニューアル工事が今年度完了するほか、青砥駅等のリニューアル工事を引き続き推進します。また、実籾駅および公津の杜駅トイレのリニューアルを実施します。



▲ 駅リニューアルイメージ  
(西登戸駅 2022 年度実施)



▲ 駅トイレ リニューアルイメージ  
(志津駅 2023 年度実施)

## ③ 駅・車内照明のLED化

更なる環境負荷の低減を図るため、各駅構内および車内照明のLED化工事を推進します。

## ④ 新形式車両(3200形)の導入

編成車両数が変更できる新形式車両(3200形)を導入します。



## (3) 空港輸送

### ① 成田空港の機能強化に合わせた空港アクセスの強化

成田空港の更なる機能強化への対応のため、宗吾車両基地拡充工事計画における新工場建設工事を推進します。

<新工場完成のイメージ>



以上